

木次線は山陰本線の宍道駅(島根県)と芸備線の備後落合駅(広島県)間81.9kmを結ぶ、嘗ての陰陽連絡線^{*1}であった。1980年まで鳥取県米子から広島まで夜行急行も運行されていたほどであったが、現在では、いつ廃線になっても不思議ではないほどの赤字閑散路線になってしまった。島根県東部から広島県宛の郵便物輸送を兼ねて鉄道郵便路線が開設され、昭和時代末期でも上下各2便の設定があった。所謂、盲腸線^{*2}ではないものの、木次線沿線と広島県側の経済的結びつきは弱く、沿線人口も少ないため、同路線でも下り表示の鉄郵印は上り便より絶対的に少ない。1957年(昭32)当時、蒸気機関車に牽引された1～2両の客車と郵便車(客車兼荷物車兼郵便車)で運行されていたという。

観音10円を貼った封書には、木次線の鉄郵印(宍道落合間/32.1.24/下一)が押されている。差出人は裏面コピーの通り、島根県大東町の住人である。同町の郵便物受け渡し駅は出雲大東駅(担当郵便局は大東)である。一方、宛先は同じ木次線沿線の三刀屋町。三刀屋町は木次駅から約3.4km離れた町で、同町の配達は大東郵便局が担っていた。鉄道による郵便物受け渡しは木次駅(郵便局は木次^{*3})でおこなわれていた(地図参照)。

従って、この封書は出雲大東駅と木次駅の間を鉄道郵便車で運ばれたものである。両駅間距離は7.2km、1957年当時の時刻表でも平均で18分程度、現在ではワンマン1両のディーゼルカーが10分で到着する(時刻表参照)。出雲大東駅前のポストに投函されていたこの封書は、下り1便(おそらく宍道駅発12時10分の列車)の到着に合わせて開函され、鉄郵乗務員に手交された。出雲大東駅での郵袋受け渡し作業終了後、次の駅での受け渡し準備作業の間の短い時間で狭い車内で抹消し、郵袋に入れる間もなく、次の受け渡し駅である木次で木次郵便局員に手渡したのではなかろうか(木次駅で4～5分の停車)。そのうち、木次局からバス^{*4}か局所有自動車で大東局に運ばれた。職務に忠実だった係員なのかあるいは生真面目だったのか、比較的鮮明(「道落」が多少読みづらい)で丁寧な押印をした、数的に少ないローカル線下り便表示の鉄郵印カバーである。乱雑な開封が惜まれる。

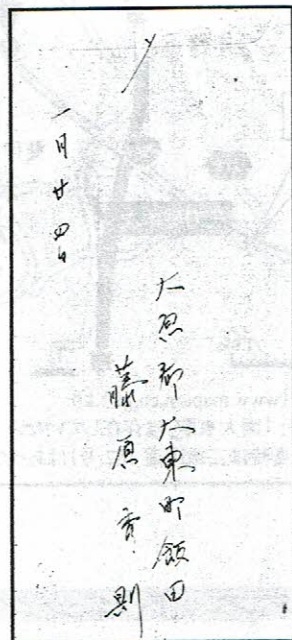
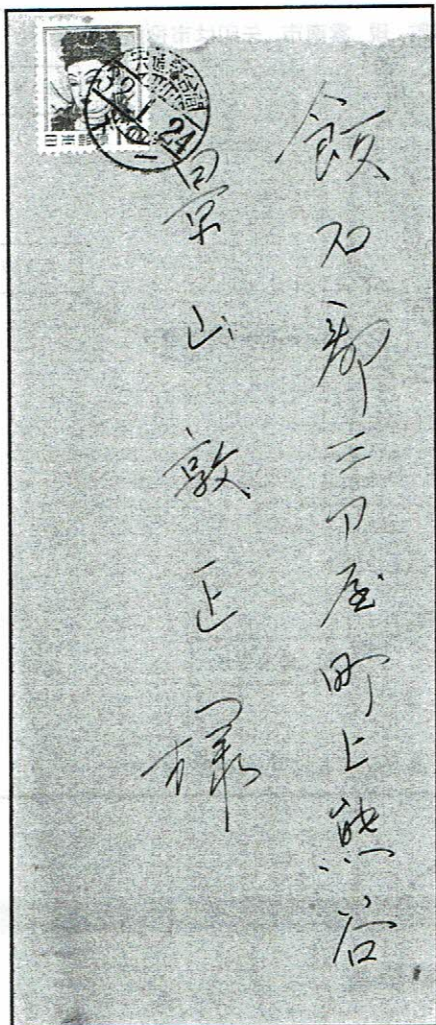
筆者はたまたま土地勘があったため、このロットを案外安く落手できた(同一鉄郵印2通で1,100円)。戦後の鉄郵印では盲腸線や閑散ローカル線の下り便、私鉄の鮮明な鉄郵印が安く出ていれば拾おうと心掛けており、結果、このような駄文まで披露もできた。私鉄や上り便は間々あるが、盲腸線・閑散ローカル線の下り鉄郵印は無いに等しいほど出てこない。考えれば当たり前の話で、行き止まりの終点向け郵便物は少ないに決まっているし、路線が短いと停車駅や作業時間も限られ、もしかすれば、抹消せずに引き渡し駅で局員に手渡していたのかもしれない。身近な例で言えば、嘗てあった筑肥線の鉄郵印「福岡伊万里間」の上り便(博多以東方面宛)は多少ともあるが、下り便(前原・唐津方面宛)は殆ど出てこないはずである。なお、楯型鉄郵印のA欄区間名は駅名ではなく、起点・終点の受け渡し郵便局名を表示するのが原則である。

*1 陰陽連絡線;山陰と山陽の間を結ぶ鉄道等交通路。

*2 盲腸線;終点(または起点)が他の路線に接続していない、比較的距離の短い鉄道路線。

*3 木次;木次郵便局は木次町の集配局である。

*4 バス;郵便運送に路線バスを利用していた地域がある。



差出人：大東町

宍道落合間32. 1. 24下一



出所：「時刻表」2015年8月号索引7ページ

31. 4.20 訂補 宍道 — 備後落合 (木次線)

出雲坂根停車1時間48分 米子発2150

行程	駅名	411	421	413	471	415	311	465	423	417	425	3313	
...	松江	847	13 33	1752	...	22 28	
0.0	宍道	735	826	1047	1210	14 00	...	1426	1714	1821	1953	22 51	
8.7	加茂	757	946	1111	1232	23	...	1450	1739	1841	2015	...	
11.3	備前	1457	1746	1847	2022	23	
13.9	出雲大東	804	952	1118	1239	1457	1746	1847	2022	...	
15.9	木次	814	958	1125	1245	14 28	...	1507	1751	1853	2028	...	
21.1	日登	605	829	1022	1141	1305	14 47	...	1713	1806	1915	2043	23 42
24.8	下久野	613	...	1029	...	1313	1722	...	1924	...	
31.5	出雲八代	634	...	1048	...	1334	1744	...	1945	...	
37.4	出雲三成	650	...	1103	...	1350	1802	...	1959	...	
41.5	出雲横田	710	...	1112	...	1401	15 31	...	1822	...	2009	...	
45.9	出雲坂根	720	...	1122	...	1412	1833	...	2019	...	
52.3	出雲川	736	...	1136	...	1432	15 53	...	1852	...	2034	...	
56.3	出雲坂根	748	437	1144	...	1442	1866	...	2043	...	
63.3	油	809	X	1207	...	1510	16 21	...	1906	...	2103	...	
75.3	備後落合	841	615	1239	...	1543	1916	...	2116	...	
81.9	米子	855	630	1254	...	1557	17 05	...	1928	...	2128	...	

1956年11月末木次線時刻表 (部分)

出所：「時刻表」1956年11月号 (復刻版) 日本交通公社